

月次売上情報

2024年5月期 店頭販売実績

(単位:前年比)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期累計
日本	日本計	94%	106%	105%	103%	102%		102%
	店舗	94%	106%	103%	103%	102%		101%
	EC	95%	105%	114%	101%	103%		103%
	日本既存店	94%	105%	105%	103%	102%		102%
	店舗	94%	105%	103%	104%	101%		101%
	EC	95%	104%	114%	101%	103%		103%
韓国	韓国計	102%	101%	109%	105%	104%		104%
	店舗	101%	99%	107%	105%	106%		103%
	EC	105%	119%	121%	111%	95%		110%
	韓国既存店	102%	98%	105%	99%	100%		100%
	店舗	102%	94%	102%	97%	101%		99%
	EC	104%	119%	120%	111%	95%		110%
合計	日本・韓国計	98%	103%	107%	104%	103%		103%
	店舗計	98%	102%	105%	104%	104%		102%
	EC計	99%	111%	117%	105%	99%		106%
	既存店計	98%	101%	105%	101%	101%		101%
	店舗計	98%	99%	103%	100%	101%		100%
	EC計	98%	110%	117%	105%	99%		106%

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期累計	通期累計
日本	日本計								102%
	店舗								101%
	EC								103%
	日本既存店								102%
	店舗								101%
	EC								103%
韓国	韓国計								104%
	店舗								103%
	EC								110%
	韓国既存店								100%
	店舗								99%
	EC								110%
合計	日本・韓国計								103%
	店舗計								102%
	EC計								106%
	既存店計								101%
	店舗計								100%
	EC計								106%

(5月の店頭販売概況)

日本では、前半の大型連休中、天候に恵まれ、春夏商品の販売が好調に推移しました。「A.P.C.」では後半にかけて気温が上昇するとともにカットソーを中心に売上が伸長しました。「マリメッコ」では、ファッションショーのライブ配信を行い、ECサイトと連動した販促施策を実施したことでユニッコ柄のワンピースや日本限定商品が稼働した結果、5月全体では店舗・ECともに前年同月を上回りました。

韓国では、月前半の大型連休にかけて郊外型アウトレットへの集客が高まりました。EC販売は月間を通じて苦戦しましたが、月後半から始まった百貨店インショップでのブランドセールの販売が後押しとなり、全体では前年同月実績を上回って終了しました。

以上の結果、5月単月の日本・韓国の合計は、前年比103%(店舗104%、EC99%)、既存店の前年比101%(店舗101%、EC99%)となりました。

- (注)
- 1、上記のデータは、当社グループの月次で集計可能な国内・韓国における実店舗及びオンラインショップでの販売実績(小売価格)に基づいています。
 - 2、韓国における販売実績は、期中平均の為替レートを使用して円換算しています。